

研究課題名：	新型コロナウイルス感染症における Ct 値と病日・ワクチン接種状況との関連に関する後ろ向き観察研究
所属（診療科等）：	公立昭和病院（感染管理部）
研究責任者（職名）：	一ノ瀬 直樹（院内感染管理者）
研究代表者（所属）	
試料・情報の提供責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
試料・情報の管理責任者：	
研究期間：	2026年5月15日～2027年3月31日
研究目的と意義：	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）において、リアルタイム RT-PCR 検査で得られる Ct 値（cycle threshold 値）は、ウイルス RNA 量の指標として臨床現場で広く用いられている。しかし、Ct 値は検体採取条件や測定系だけでなく、発症からの経過日数（病日）や宿主要因（年齢、性別、ワクチン接種状況など）の影響を受けることが知られており、その解釈には一定の限界がある。</p> <p>これまでの研究では、ワクチン接種や免疫状態がウイルス動態に影響を与える可能性が示唆されているが、特にオミクロン流行期において、病日を考慮した Ct 値の時間的変化に対する宿主要因の影響については十分に明らかになっていない。本研究の目的は、発熱外来を受診した COVID-19 患者を対象に、Ct 値と病日との関連を明らかにするとともに、ワクチン接種状況、年齢、性別が Ct 値の時間的変化（Ct kinetics）に与える影響を検討することである。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2022年1月1日から2022年2月28日までの期間に、公立昭和総合病院の発熱外来を受診し、新型コロナウイルス感染症と診断された患者のうち、リアルタイム RT-PCR 検査により Ct 値が取得されている患者 ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 年齢、性別、症状発現日（病日）、PCR 検査結果（Ct 値）、ワクチン接種歴（接種の有無、最終接種からの期間） ●提供する試料・情報の取得方法 電子カルテシステム ●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） 電子カルテ情報を用いて、後方視的に収集・調査する。 ●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名） 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】（研究全般に関すること） 氏名：一ノ瀬 直樹（感染管理部） 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>